

# 「国語科」の学習

## 1. 教科の目標

- ・国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育てる。
- ・伝え合う力を高める。
- ・思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにする。
- ・国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。

## 2. 観点別評価項目と主な評価内容

	観 点	主な評価観点
①	国語的な知識・技能	授業観察・定期テストの「知識・技能」問題
②	国語的な思考・判断・表現	授業観察・定期テストの「思考・判断・表現」問題
③	主体的に学習に取り組む態度	授業態度・発表・提出物・振り返り・レポート等

## 3. 観点別の具体的な心構えや学習方法（①～③は、上記の観点です）

	心構えや学習方法
①	<ul style="list-style-type: none"><li>・小学校や中学校で学習した漢字の読み書きをできるようにする。</li><li>・文法を理解できるようにする。</li><li>・昔の文章に慣れ親しむことができる。</li><li>・言語に関する知識を広げ、語彙を豊かにする。</li><li>・用途に応じてふさわしい文字を書くことができる。</li></ul>
②	<ul style="list-style-type: none"><li>・話し手の意図を考えながら、内容を聞き取ろうとする。</li><li>・自分と異なる立場の相手との考えの違いを明確にしながらかいたり、話したりする。</li><li>・自分の考えをまとめ、相手にわかりやすく伝えようとする。</li><li>・表現を工夫して、自分の気持ちを豊かに表すことができる。</li><li>・目的や意図に応じて、構成や論理の展開を考えて書くことができる。</li><li>・文章の展開に即して内容をとらえ、登場人物の心情や背景を読み取ることができる。</li><li>・文章の展開に即して内容や要旨をとらえ、自分の考えを深める。</li><li>・内容を理解して、心をこめて朗読することができる。</li></ul>
③	<ul style="list-style-type: none"><li>・忘れ物をせず提出物をしっかり出す。授業中は主体的に学習に取り組み、積極的に発言する。</li><li>・文章を読んで、筆者の考えを理解し、自分なりの考えを持つようとする。</li><li>・すすんで読書に親しむ</li><li>・自主的に学習する。（自主学习ノートなど）</li></ul>

- ・ベル着や準備物、提出物の期限を守るなど、授業に対する心構えが大切です。

## 4. 家庭学習のあり方

- ・授業の前に予習として、教科書を音読しておこう。
- ・意味の分からない語句は、辞書で調べておこう。
- ・新しく習った漢字は、正しく覚えられるように書いて覚えよう。
- ・出された宿題は、自分の力でしっかりやり遂げよう。
- ・授業で習った内容は、ワーク等で復習しておこう。

## 5. 年間指導計画

	1年（140時間）	2年（140時間）	3年（105時間）
一学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野原はうたう</li> <li>・情報を整理して書こう</li> <li>・楷書を書こう（漢字）</li> <li>・シンシュン</li> <li>・話し言葉と書き言葉</li> <li>・「好きなもの」を紹介しよう</li> <li>・楷書を書こう（仮名）</li> <li>・ダイコンは大きな根？</li> <li>・ちょっと立ち止まって</li> <li>・わかりやすく説明しよう</li> <li>・話の構成を工夫しよう</li> <li>・漢字の組み立てと部首</li> <li>・詩の世界</li> <li>・比喻で広がる言葉の世界</li> <li>・言葉を集めよう</li> <li>・文法 言葉の単位</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見えないだけ</li> <li>・アイスプラネット</li> <li>・枕草子</li> <li>・職業ガイドを作る</li> <li>・漢字1 熟語の構成</li> <li>・クマゼミ増加の原因を探る</li> <li>・魅力的な提案をしよう</li> <li>・文法1 単語をどう分ける？</li> <li>・メディアを比べよう</li> <li>・情報を集めよう</li> <li>・短歌に親しむ</li> <li>・短歌を味わう</li> <li>・言葉の力</li> <li>・言葉1 類義語・対義語・多義語</li> <li>・星の王子さま</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界はうつくしいと</li> <li>・握手</li> <li>・学んで時に之を習ふー「論語」から</li> <li>・文章の種類を選んで書こう</li> <li>・熟語の読み方</li> <li>・作られた「物語」を超えて</li> <li>・説得力のある構成を考えよう</li> <li>・実用的な文章を読もう</li> <li>・報道文を比較して読もう</li> <li>・俳句の可能性</li> <li>・俳句を味わう</li> <li>・言葉を選ぼう</li> <li>・和語・漢語。外来語</li> <li>・文法への扉1</li> <li>・読書を楽しむー羊と鋼の森</li> </ul>
二学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人になれなかった弟たちに</li> <li>・星の花が降るころに</li> <li>・指示する語句と接続する語句</li> <li>・「言葉」を持つ鳥、シジュウカラ</li> <li>・話題を捉えて話し合おう</li> <li>・いろは歌 月に思う</li> <li>・蓬萊の玉の枝（竹取物語）</li> <li>・行書の特徴を知ろう</li> <li>・今に生きる言葉（漢文を読む）</li> <li>・故事成語を使った体験文</li> <li>・話題や方向を捉えて話し合おう</li> <li>・文法 文の組み立て</li> <li>・「不便」の価値を見つめ直す</li> <li>・大阿蘇</li> <li>・漢字の音訓</li> <li>・手書きの文字と活字</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盆土産</li> <li>・字のない葉書</li> <li>・表現を工夫して書こう</li> <li>・言葉2 敬語</li> <li>・モアイは語る</li> <li>・意見文を書く</li> <li>・立場を尊重して話し合おう</li> <li>・扇の的</li> <li>・仁和寺にある法師</li> <li>・漢詩の風景</li> <li>・君は「最後の晚餐」を知っているか</li> <li>・鑑賞文を書く</li> <li>・文法2 用言の活用</li> <li>・研究の現場によるこそ</li> <li>・書写</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶</li> <li>・故郷</li> <li>・論理の展開を整える</li> <li>・慣用句・ことわざ・故事成語</li> <li>・漢字の造語力</li> <li>・人工知能との未来</li> <li>・人間と人工知能と創造性</li> <li>・合意形成に向けて話し合おう</li> <li>・初恋</li> <li>・古今和歌集 仮名序</li> <li>・万葉・古今・新古今</li> <li>・夏草</li> <li>・批評文を書く</li> </ul>
三学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年の日の思い出</li> <li>・随筆二編</li> <li>・書き初めをしよう</li> <li>・さまざまな表現技法</li> <li>・印象深く思いを伝えよう</li> <li>・単語の分類</li> <li>・一年間の学びを振り返ろう</li> <li>・さくらのはなびら</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走れメロス</li> <li>・文法3 付属語</li> <li>・構成や展開を工夫して書こう</li> <li>・言葉3 話し言葉と書き言葉</li> <li>・漢字3 送り仮名</li> <li>・言葉の学びを振り返ろう</li> <li>・木</li> <li>・書写</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰かの代わりに</li> <li>・漢字のまとめ</li> <li>・温かいスープ</li> <li>・わたしを束ねないで</li> <li>・三年間の歩みを振り返ろう</li> <li>・文法・漢字・振り返り</li> <li>・書写</li> </ul>

